

第 22 号

発行日
令和 8 年
6 月 15 日

3 月の地区（校区）福祉委員会で「区民が参加している“地域活動・つながりの場”を集めよう」をテーマにグループワークを行いました。

地域内を見回して交流の場をチェックすることで、住民同士のつながりが「誰もが安心して暮らせる地域」となることを再確認しました。



▲区民が参加している地域活動や、つながりの場について話し合う参加者

編集・発行:養父市社会福祉協議会
生活支援コーディネーター

福祉連絡会と社協をつなぐ情報紙 ねっとわ〜く

誰もが自分らしくいきいきと暮らす地域へ みんなで考える地域の「つながりの場づくり」

社会福祉協議会では、地区（校区）福祉委員会を通して小地域福祉活動（住民が支え合い、助け合う活動）を進めており、誰もがつながりを持って、いきいきと暮らせる地域づくりを支援しています。令和 8 年 3 月に開催した福祉委員会では「地域活動・つながりの場」について話し合いました（146 行政区、696 人参加）。

福祉委員会では、次のような内容についてグループワークを行いました。

①区民が参加している“地域活動・つながりの場”を集めよう

区内では、「毎日元気にクラス」「ラジオ体操」などの健康づくりの活動や「ふれあい喫茶」「レクリエーション大会」「食事会」といった住民同士が和気あいあいと楽しく交流する活動などが挙げられました。また自治協やスポーツクラブが行う「グラウンドゴルフ」「カラオケサークル」「麻雀の会」などもつながりの場として多くの住民が参加していることがわかりました。

②あったらいいなと思う・参加してみたい“地域活動・つながりの場”を考えてみよう

今まで自分の区ではしていなかった「ふれあい喫茶」や「毎日元気にクラス」などに取り組んでみたいという思いや、「ふれあい酒場」「区民旅行」「歌声喫茶」や「男性料理教室」など夢のある楽しそうな企画について話し合われました。

グラウンドゴルフで健康づくりと仲間づくり（大屋町西谷地域）

大屋町西谷地域では、グラウンドゴルフを通じて健康づくりが行われています。篠区のわくわく広場を会場に西谷スポーツクラブが主催で毎週木曜日（9:00～11:00）に定例会、毎月第 4 火曜日には定期大会が開催され、毎回 15 人前後の方が参加しています。

プレー中は真剣な表情で集中してポストをねらう一方、休憩時間やプレー後には参加者同士、和気あいあいと世間話に花を咲かせていました。

参加者は「みんなより上手くなろうと頑張ってはいるけどなかなか上手くできんわ」また、別の参加者は「グラウンドゴルフで体を動かすこともええけど、みんなと話ができることが楽しみで毎回参加しています」と話していました。

青空の下、参加者の活気にあふれた表情と笑顔が印象的でした。



▲5/28(木)、グラウンドゴルフを楽しむ参加者

だれでも参加できる憩いの場「ふれあい喫茶」

(大谷はあとサロン「てくてく」)

大谷区では、令和4年10月から女性を中心にボランティアグループ大谷はあとサロン「てくてく」を結成し区民の健康づくりや多世代交流をすすめる「ふれあい喫茶」を定期的を開催しています。

5月21日には13人が参加し、茶話会や体操、歌で楽しいひと時を過ごしました。

やぶからぼうたいそうとラジオ体操で身体をほぐし、歌では電子ピアノの演奏に合わせた合唱のほか、歌のリズムに合わせた手遊びや口体操も2人1組になり行っていました。

同グループ代表者は、「昨年度は区や福祉連絡会と連携し七夕飾りづくりやフレイル予防教室、クリスマス会などを開催しました。今年度も無理のない範囲で続けていきたいです。「ふれあい喫茶」は、区民の人がだれでも参加できるような集いの場にしたいです」と話していました。



楽しみがあるから続くつどいの場 (伊豆区)

市内の80カ所を超える行政区や自治協議会で開催されている「毎日元気にクラス」。伊豆区では、毎週水曜日13時30分から1時間程度、伊豆コミュニティ消防センターで開催しており、今年で5年目になります。

普段は10人程度集まりますが、5月20日は山椒ぼりや農繁期のため5人。体操はやぶからぼうたいそうから始まって、げんき貯金体操やパタカラ体操、歌や手遊びで身体を動かしました。

「細長い区やで、ここに来たら体操をするだけじゃなく、普段見ない人の顔が見れる」「ここに来てみんなと話

さな、世間のニュースについていけん」と言葉のあちこちに参加者各々が目的をもって集まっているのが伺えました。



▲「茶摘み」の歌に合わせてこどもの頃にした手遊びをする参加者

校区民の憩いの場「ふれあい喫茶」

(伊佐校区自治協議会)

伊佐校区自治協議会では、毎週火曜日の午前と金曜日の午前・午後に「ふれあい喫茶」を開催しています。校区内全域から参加があり、男性参加者が多いことも特徴のひとつです。

5月22日も、来店者が三々五々に訪れ、庭に咲いた花を持ち寄ったり、昔の写真を見ながら思い出話に花を咲かせたりと、それぞれに思い思いの時間を過ごしていました。

来店していた加藤忠大さんは「開店時にはほぼ毎回、同級生が5~6人集まります。市外に住む同級生が顔を見せてくれることもあり、週2回開催してくれているのは本当にありがたい」と和やかに話していました。

地区福祉委員会でも多くの区が、この「ふれあい喫茶」を“地域活動・つながりの場”として挙げていました。地域の大切な憩いの場となっています。



【編集後記】 『ねっとわ〜く』では、これからも、地域のちょっとしたいい話、笑顔になるエピソード、みんなで協力して取り組んだ活動などを情報発信していきます。ぜひ、いろいろな情報をお寄せください。

だれもが つながり ささえあう いのち輝く まちづくり “つながり”を養父市のチカラに
社会福祉法人養父市社会福祉協議会

〒667-0022 養父市八鹿町下網場 320 地域交流センター「福祉の杜」



Web サイト:

<https://www.yabu-shakyo.jp/>



連絡先:

079-662-0160



メール アドレス:

info@yabu-shakyo.jp